



時田 千弘氏

—健康で、生涯ゴルフを続けたい—

—ゴルフをはじめたきっかけを教えてください。

1980年頃、国立市商工会の青年部長を務めていた時に、15市合同研修会があり、その時に初めてゴルフを体験しました。その後、南地域にあるゴルフ場でゴルフの練習をするようになりました。

—国立市ゴルフ協会に加入されたきっかけは何ですか。

1995年に国立市ゴルフ連盟が発足し、事務局長を務めました。その後、市内にゴルフ団体が複数存在し、すべての団体を1つにまとめるという話になり、1998年に国立市ゴルフ協会を設立し、発起人として取りまとめ役を行いました。

—国立市ゴルフ協会や国立市体育協会ではどのような活動をされていますか。

協会の会員向けにゴルフ大会を主催しています。今年の3月に行われる大会で37回開催しています。

他に、「国立市民ゴルフ大会」も主宰し、こちらは市民であれば誰でも参加できる大会です。今年で17回目を迎え、のべ2万名の方に参加していただいています。企画・運営を行っており、市民にゴルフスポーツを広めたいと活動しています。



▲国立市ゴルフ大会の様子

体育協会では、毎年行われているファミリーフェスティバルにおいて、子どもたち向けのパター教室を開催しています。ジュニア育成を目的とし、若い世代のゴルフ人口を増やすために行っています。

体育の日に行われているくにたちウォーキングでは、交通整理などにゴルフ協会員を派遣し、私自身も実行委員としてイベントに積極的に関わりました。



▲ファミリーフェスティバルの様子

—ゴルフという競技の魅力を教えてください。

あの白くて小さな球を追いかけるのが醍醐味です。4人で意思疎通を図りながら、交流を深めていくのもまた魅力の一つです。80才を過ぎても、少しでも長くゴルフが続けられるようトレーニングをしています。例えば、毎日1万5千歩を歩いています。

—地域におけるゴルフ競技の今後についてどのようにお考えですか。

シニアの健康づくりのために何か貢献できればと考えています。現在も、練習場でシニアの指導を行っているのですが、今後も健康維持のスポーツとして、ゴルフを広めていきたいと考えています。

一時期は120名いた会員ですが、現在は、73名。一番若い方で50代と、高齢化してきています。将来、このゴルフ協会を担ってくれるジュニアも育成していきたいです。そのためにも、ファミリーフェスティバルのようなイベントで子ども向けのイベントを行っていききたいです。そして、国立市内のゴルフ人口を増やしていきたいと考えております。



時田 千弘（ときた ちひろ）氏

昭和14年3月生

平成13年～現在 国立市ゴルフ協会専務理事

平成19年～現在 国立市体育協会理事

国立市民体育祭実施委員

ファミリーフェスティバル実行委員

くにたちウォーキング実行委員

平成11年 立川国際草花コース アルバトロス 達成

平成18年 武蔵笹井コース ホールインワン 達成

平成23年 月例Aクラス上野原 エージシュート 達成

平成19年 上野原GC シニア選手権 優勝

平成28年 グランドシニア選手権 優勝

他 各種選手権にて優勝多数